

居住支援と 伴走型支援

2026. 5. 29 (金)
15:00 ~ 17:00 [会場集合型]

定員先着
50名
参加費無料

対象：居住支援法人・不動産会社・保証会社・管理会社・
高齢者・障がい者・刑務所出所者等支援団体・医療機関・
自治体・生活困窮者支援機関等職員・一般の方

会場
市民活動プラザ星園 2F 大会議室

(札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1)

最寄りの公共交通：地下鉄東豊線「豊水すすきの」・地下鉄南北線「中島公園」から徒歩5分



開催目的

- 不動産業界・福祉業界・行政等が連携（顔の見える関係になる）し、住まいの確保が難しい方が地域内で住まいを確保し、安心して暮らすことができるためのネットワークづくりを行う。
- 福祉業界、不動産業界の双方がそれぞれの専門性や業務内容を理解し、現場レベルで、個別事案に対応できる連携体制を構築する。

開催概要

昨年、生活困窮者自立支援制度、住宅セーフティネット制度が法改正されました。これまで、住まいの確保が難しい方に対する入居前支援が中心でありましたが、「居住サポート住宅」もスタートするなど、住まいの確保だけではなく、入居後の支援をどう行っていくのかが重要になってきています。居住支援の対象者も、単身高齢者・障がいのある方・刑務所出所者などが中心に議論されてきましたが、氷河期世代の中高年、若者、外国人などその範囲も広がってきており、入居者一律の支援サービスだけは難しくなっています。

本研修会では、居住支援を行う中で、ひとり一人に寄り添った「伴走型支援」の重要性やその可能性について考えたいと思います。

プログラム

1. 「居住支援と伴走型支援～抱樸の実践から～」

講師：奥田 知志 氏（認定 NPO 法人抱樸 理事長）

2. 対談 / テーマ：これからの「居住支援と伴走型支援」

登壇者：奥田 知志 氏（認定 NPO 法人抱樸 理事長）

穴澤 義晴 氏（北海道居住支援協議会居住支援法人部会 部会長

※NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター 理事長）

コーディネーター：山内 太郎 氏（札幌国際大学短期大学部 准教授）

3. まとめ

居住支援と伴走型支援



参加を希望される方は、
5月22日(金)までに
下記宛に申し込みください。
定員になりましたら
応募を締め切ります。

宛先：NPO法人コミュニティワーク研究実践センター

FAX:011-788-2399 メール：sumaisoudan@cmtwork.net

お名前	ご所属	電話番号	メールアドレス



会場 市民活動プラザ星園 2階 大会議室
札幌市中央区南8条西2丁目5-74

最寄駅 地下鉄東豊線 豊水すすきの駅6番出口
地下鉄南北線 中島公園駅1番出口

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用頂くかお車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

問い合わせ

NPO法人コミュニティワーク研究実践センター
電話 [担当者直通] : 080-3265-8832 (湯澤)
メール : sumaisoudan@cmtwork.net

